

2025年8月度bossjob新規登録状況レポート

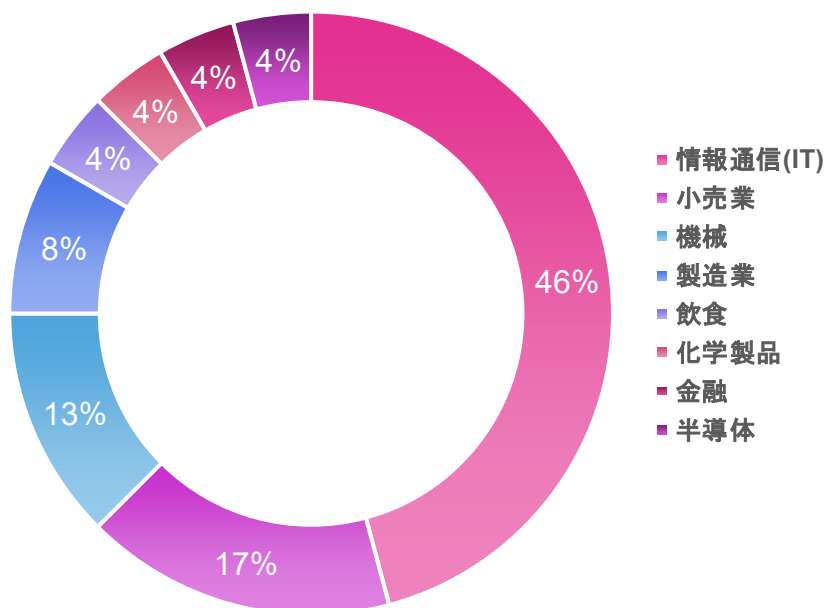
2025年8月度のbossjob日本国内の新規求人企業と新規登録求職者の企業業種、求人職種、求職者の希望職種の割合データを公表いたします。

新規登録企業業種

2025年8月にbossjobへ新規登録した企業の業種を見ると、「情報通信（IT）」が46.0%と引き続き最多を占め、外国人IT人材への安定した需要が継続する一方で、「小売業（17%）」や「機械（13%）」「製造業（8%）」の割合が大きく伸びており、先月には目立たなかった業種での新規登録が増加しました。

これにより、外国人材の活用はIT領域にとどまらず、小売・製造・機械系といった現場や接客業、さらには「半導体」「化学製品」「金融」など専門性の高い業種にも広がりを見せており、bossjobが多様な業界の採用課題に対応するプラットフォームとして浸透しつつある傾向が鮮明になっています。

業種	%
情報通信(IT)	46%(前月46%)
小売業	17%(0%)
機械	13%(7%)
製造業	8%(12%)
飲食	4%(4%)
化学製品	4%(0%)
金融	4%(2%)
半導体	4%(0%)



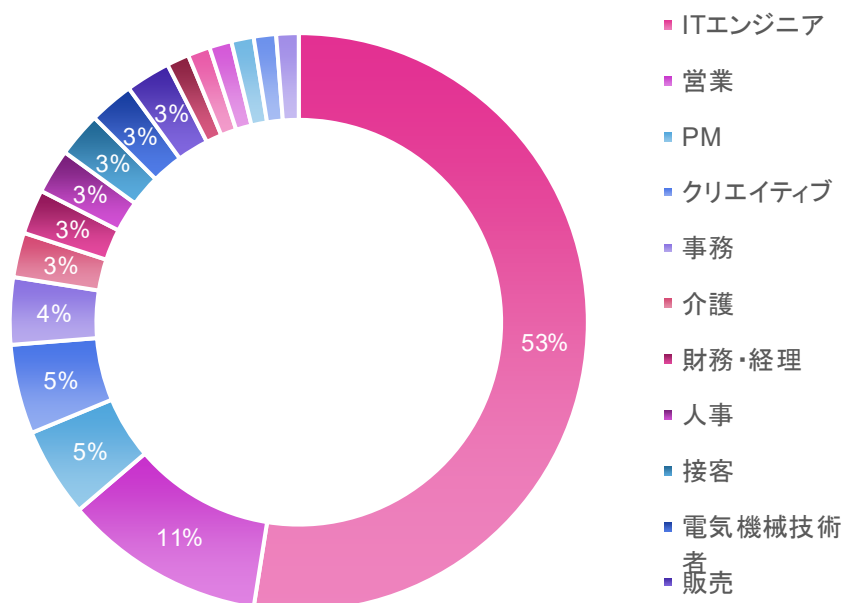
新規求人職種

2025年8月にbossjobへ新規登録された求人のうち、「ITエンジニア」職が53%を占め、前月の32.4%から大幅に上昇し、再び過半数を超える結果となりました。これは、秋以降のシステム開発やWeb3・AI領域のプロジェクト拡大を背景に、即戦力エンジニアの確保を急ぐ企業の動きが活発化している兆しといえます。あわせて、「PM（プロジェクトマネージャー）」職も1.0%から5.0%へと増加しており、エンジニアとセットでマネジメント層の採用ニーズも強まっていることが読み取れます。

また、「営業（11%）」「クリエイティブ（5%）」「事務（4%）」など、バックオフィスや顧客対応系の職種も安定的に求人が出されており、企業が外国人材をより幅広いポジションで活用し始めている様子がうかがえます。特に、「介護」「接客」「販売」「電気機械技術者」などの現場系・技能系職種がそれぞれ3%前後を占めており、特定技能分野における採用も着実に進行中です。

さらに、「ドライバー」「整備」「溶接」「調理」といったニッチな技能職種も各1%ながら求人が見られ、一部業界ではピンポイントでの人材ニーズが発生していると考えられます。

業種	%
ITエンジニア	52.5%(前月32%)
営業	11.3%(12%)
PM	5%(1%)
クリエイティブ	5%(8%)
事務	3.8%(8%)
介護	2.5%(1%)
財務・経理	2.5%(2%)
人事	2.5%(2%)
接客	2.5%(3%)
電気機械技術者	2.5%(3%)
販売	2.5%(0%)
ドライバー	1.3%(0%)
マーケティング	1.3%(2%)
整備	1.3%(0%)
総務	1.25%(0%)
調理	1.3%(1%)
溶接	1.3%(0%)



新規求職者希望職種

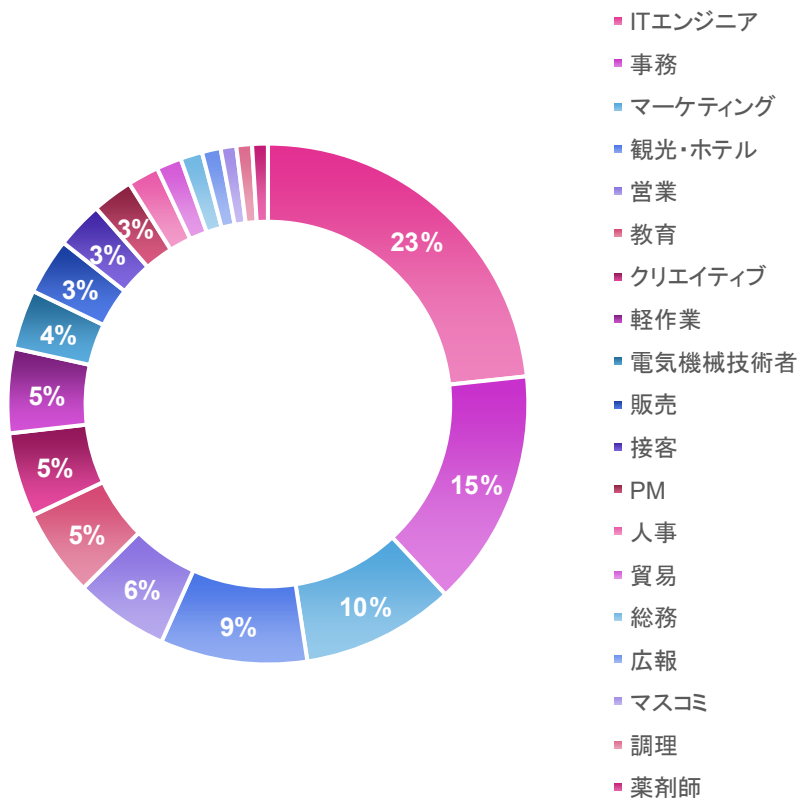
2025年8月にbossjobへ新規登録した求職者の希望職種を分析したところ、「ITエンジニア」が23%と最も多く、前月の17.7%から大きく上昇しました。これは、外国人求職者の間で、日本のIT業界における就労ニーズが引き続き高まっていることを示しており、同時に求人側の動きと合致する結果となっています。また、「事務（15%）」や「マーケティング（10%）」といったバックオフィス・企画職への希望も増加傾向にあり、特にマーケティングは前月の2.3%から10%へと急上昇し、デジタルスキルやSNS運用経験を活かした職種への関心の高まりが見受けられます。

一方で、「軽作業」は前月の12.7%から5%に減少し、求職者がより専門性のある職種やキャリア志向の高いポジションを志望している傾向が強まっていることがうかがえます。「観光・ホテル（9%）」「教育（5%）」「クリエイティブ（5%）」などの職種も引き続き人気があり、語学力や接客スキルを活かした仕事へのニーズも安定しています。

さらに、今月は「電気機械技術者（4%）」「PM（3%）」「貿易（2%）」「薬剤師（1%）」といった技術職や専門職への希望も幅広く分散しており、求職者の関心が多様化している点も特徴的です。これは、外国人材が単に労働力としてではなく、自身の経験やスキルを活かせるポジションを積極的に探していることを示しています。

全体として、8月はIT人材への志向が強まりつつも、管理系・ホスピタリティ系・専門職系に至るまで希望職種が広がりを見せており、外国人求職者のキャリア志向とスキルの多様化が進んでいることが明確になった月となりました。

職種	%
ITエンジニア	23.3%(前月18%)
事務	14.8%(15%)
マーケティング	9.5%(2%)
観光・ホテル	9.1%(8%)
営業	5.8%(2%)
教育	5.4%(4%)
クリエイティブ	5.2%(5%)
軽作業	5.2%(13%)
電気機械技術者	3.7%(1%)
販売	3.5%(0%)
接客	2.9%(4%)
PM	2.5%(0%)
人事	1.9%(4%)
貿易	1.6%(0%)
総務	1.4%(0%)
広報	1.2%(0%)
マスコミ	1%(0%)
調理	1%(1%)
薬剤師	1%(0%)



Yolo Technology株式会社 bossjob Japan Country Manager 植村 謙一郎

2003年、製造業を中心とする大手人材派遣企業にてキャリアをスタート。主に求職者（2C）向けの集客領域で実績を積む。リーマンショックを契機に、社内の主要メンバーとして人材紹介事業部の立ち上げに参画。

その後、複数のベンチャー企業にて、外国人材の派遣事業の立ち上げを主導。加えて、深刻化する物流業界の人材不足を解決すべく、ドライバー専門の派遣事業を立ち上げ・展開。また、IT人材市場のニーズに応えるため、ITフリーランス人材の事業統括も歴任。



現在は、AIスカウト型グローバル求人プラットフォーム「bossjob」の日本市場責任者（Country Manager）として、日本企業と海外高度人材を結ぶグローバル採用の推進に取り組んでいる。

【主なご取材可能事項】

- ✓ 日本での外国人雇用の現状と必要性
- ✓ 高度外国IT人材が日本ビジネスにもたらすメリット
- ✓ 今後の日本市場における外国人材雇用の動向
- ✓ bossjobについて

【本件に関するお問い合わせ先】

Yolo Technology 株式会社：Ray（レイ）

TEL：03-5860-1025 E-MAIL：feedback@bossjob.jp